

# 藻岩嶺



札幌岳より

## 院内勉強会

4月、院内勉強会を作業療法室で行い、約3年ぶりに職員が集まりました。新型コロナウイルス感染症の感染対策の為、職員が集まる事は難しく、資料配布と研修アンケートの提出を行いました。

今回は傳田院長が、2023年度の平松記念病院の診療方針と医療安全推進の取り組みについてお話をされました。直接お話を聞けることが久々でした。職員が集まり同じ情報を共有できる時間は大切だと改めて感じました。

今後も個人でできる感染対策を継続していきたいです。 (文責 竹井)



理念 適切な精神科医療・保健・福祉を目指し  
次の二つの柱を基礎に据えます

患者さんの権利と責務について

### 患者さんの権利

私達は、患者さんの以下の権利を遵守して日々の医療を行います。

- 1.安全で適切な医療を公平・平等に受ける権利
- 2.個人として人格を尊重される権利
- 3.治療、病状、検査などについて、十分な説明を受ける権利
- 4.十分な説明や情報提供のもと、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5.個人情報やプライバシーが守られる権利
- 6.セカンドオピニオンを受ける権利
- 7.精神保健福祉法を遵守した医療を受ける権利

### 患者さんの責務

- 1.最善で適切な医療を受けるために、病状経過や過去の治療歴・アレルギー歴などの情報を提供する必要があります。
- 2.治療効果をあげるために、医療関係者と共同して治療に取り組む必要があります。
- 3.円滑な医療サービス体制を確保するために、病院や社会生活上のルールやマナーを遵守する必要があります。

基本方針 理念を実現するために5つの基本方針を定めます

- 1.私たちは、人権を尊重し、信頼と満足感を持っていただけるように努めます。
- 2.私たちは、相手の身になって受容的態度をもって接するように努めます。
- 3.私たちは、自己研鑽に努め、情報を共有し、連携・協力し合うチーム医療を目指します。
- 4.私たちは、常に新しい医療・保健・福祉システムを提供できるように努めます。
- 5.私たちは、地域における自らの役割を認識し、地域に貢献します。

## 編集後記

新しい広報誌が出来上がりました、如何でしたでしょうか。

この度、広報委員会メンバーに入れ替わりがありました。

今までの伝統・経験を引き継ぎながらも

院内の意見や異なる視点も取り入れて多くの方に

楽しんで頂ける広報誌をお届けしたいと思います。

平松記念病院に通う皆さんからの

リクエストやアドバイスも絶賛募集中です。



広報委員長 山田知子



発行人：平松記念病院 広報委員会  
発行日：2023年8月発行

☎064-8536

札幌市中央区南22条西14丁目1番20号  
ホームページ：<http://www.hiramatu-mhp.or.jp>

お問い合わせ：

E-mail:[webmaster@hiramatu-mhp.or.jp](mailto:webmaster@hiramatu-mhp.or.jp)  
TEL:(011)561-0708 FAX:(011)552-5710

表紙写真提供：外来看護師

## 「2023年度の平松記念病院診療方針」 院長挨拶2023



院長 傳田 健三

近年精神科医療の内容が従来の統合失調症中心から、うつ病、双極性障害、認知症、発達障害、睡眠障害などへ多様化しています。このような社会的ニーズに応えるため、入院治療では精神科急性期病棟をフル稼働し外来治療では「大人の発達障害外来」「睡眠外来」さらには「うつ病TMS外来」などの専門外来を充実させていきたいと考えています。

まず、精神科急性期病棟では全病室を個室化(1床室、2床室)することを考えています。すでに工事が進んでおり、今年中には実現できる予定です。

入院患者の疾患別割合は、統合失調症は減少し、認知症と気分障害が増加すると予想されます。そのために、認知症の方を一定数受け入れて、病状を安定させて地域で生活できるように治療したいと考えています。

今年度より、反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS療法)を導入し、薬物治療抵抗性うつ病の入院治療を開始いたしました。

また、デイケア・外来作業療法では集団認知行動療法を取り入れたプログラムを組み入れていく予定です。このように、小児期・思春期から老年期まで、すべてのライフステージに応じた切れ目のない医療を提供すべく日々研鑽を重ねていきたいと思っています。これからも、患者・スタッフとのあたたかい治療関係、エビデンスに基づく良質で効果的な精神科医療、社会復帰と地域生活の支援を提供できるように職員一同誠心誠意努めて参りたいと思います。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

# 就任のご挨拶



皆さん初めまして。

平松記念病院に採用して頂き、4月から勤務している山田知子と申します。いまだに病院内で迷子になったり、電子カルテの使い方が分からずあたふたしては教えて頂く毎日ですがどうぞよろしくお願いいたします。

私は仲良し子ども館から大学まで全て三輪車や自転車で通える所に住み、高校生まで器械体操を習っていました。(元世界チャンピオン、ロシアのホルキナ選手やボギンスカヤ選手の優雅な演技が大好きです) 医師として働くようになって初めて旭川や滝川、登別と札幌以外の都市に住み、とても良い経験・良い思い出となりました。

副診療部長 山田 知子

今は再び故郷の札幌で働く日々です。音楽が好きで、札幌の第634回定期演奏会(2021年1月22日)で、ブルックナー8番第3楽章243小節のクライマックスに感動して落涙したのがきっかけで定期会員になりました。通勤する時はSpotifyで探した曲を聴きながら運転しています。

平松記念病院は、電子カルテとサイボウズが導入されていてチームワークに欠かせません。治療上の情報を一つの画面に全職種(医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、公認心理師、作業療法士、相談員、事務)皆で書き込みます。世代や職種の垣根を取り払って皆で問題点や改善点を洗い出して行くので一人で悩む必要はなく、独りよがりな判断を防ぐことが出来ます。職員全体のスケジュールを共有してスムーズに調整したり、大切な連絡事項をリアルタイムで告知したり。確認承認の作業は紙要らずでスピーディです。

平松記念病院にお見えになる幅広い年齢層の患者さん(10代~90代)を拝見し、少子高齢化やコロナによる生活スタイルの一変、政治的な対立や戦争のニュースが心身の不調を煽っていると痛感しています。お薬やカウンセリングに加えて、rTMS治療も行っています。(脳に磁気を利用した刺激を与えるうつ病治療で副作用は殆ど無し。道内唯一の保険適応病院) 信頼出来るスタッフ揃いです、ご相談頂ければと思います。

## rTMS療法 開始しました

rTMS(反復経頭蓋磁気刺激)療法は2019年6月より保険診療として認められた最新のうつ病の治療法です。薬物療法で症状のコントロールが難しい患者さんにとって、新たな治療の選択肢となります。頭に密着させた専用の装置を用いて、脳の特定の部位(前頭前野)の神経細胞を繰り返し刺激して、活動性が変化することでうつ病による症状を和らげていくことが期待できる治療法です。



(写真)トレーニング時の様子

### TMS治療の3つのメリット

薬物療法で十分な症状改善が得られない方に適した治療法です。

治療効果は持続し、再発率が少ないことが明らかになっています。

副作用が少ない安全な治療です。一般的には頭皮に痛みを感じる程度です。

治療時間	約60分間/日(器具の取り付け~治療)
治療回数	月曜日~金曜日まで週5回
治療期間	6週間、30回が上限(入院治療は1回のみ)

入院での治療となります。当院通院中の方は主治医へご相談ください。

# デイケア 活動報告

## ●パークゴルフ

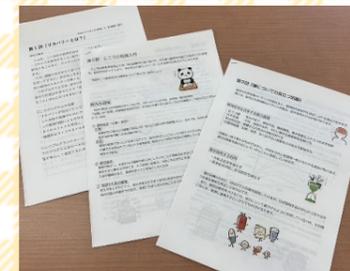
天気の良い日は外でのびのびと活動したい人に人気のプログラムです。練習した分、少しずつスコアが伸びてくるのもやる気にもつながっていいですね。デイケアで参加して、ハマリ、プライベートでも行くようになった人も大勢おられます。

雪が降るギリギリまで行う予定です。

## ●リカバリーワーク

疾患や症状、対処の仕方について、みんなで一緒に学ぶプログラムです。

話し合いの中で、苦手なところだけでなく、自分のもつ強みに気づききっかけとなることもあります。一緒に考えることでアイデアがたくさん生まれることもいいところです。



今回ご紹介した以外にも様々なプログラムがあります。今後も少しずつ紹介していきたいと思います。見学もお受けしておりますので、お気軽にご相談ください。

# 作業療法 活動紹介

コロナ禍で様々なイベントが中止となっている中ですが、先日病棟ごとに春のカラオケイベントを実施しました。歌唱者にはオリジナルタオルをプレゼントし、春らしい装飾をつけながら行いました♪

みなさんの笑顔が見れて私たちもとてもうれしい気持ちになりました。少しずつですが、みなさんが楽しめるイベントを実施できるよう考えていきたいと思っています。



午前中のプログラムも再開になり、皆さん色々な作品を作ってくれています。

季節の飾り作りでも様々な飾りがホールを彩ってくれています♪

